

第2学年社会科（地理的分野）学習指導案

令和元年11月13日（水）第6校時

2年1組 生徒数 27名

指導者 武田 太志

学習指導要領

地理的分野 内容 (2) 日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域
(ウ) 産業を中核とした考察

地域の農業や工業などの産業に関する特色ある事象を中核として、それを成立させている地理的諸条件と関連付け、地域に果たす産業の役割やその動向は他の事象との関連で変化するものであることなどについて考える。

1 単元名

第2編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域

4 中部地方 産業を中心に考えよう

2 単元について

○単元観

日本の諸地域の学習は、日本をいくつかの地域に区分し、それぞれの地域の特色ある地理的事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて研究する活動を通して、日本の諸地域の地域的特色をとらえさせることを主なねらいとしている。その中でこの中部地方では、(ウ)の「産業を中核とした考察」を選択し、単元の指導内容を構成していく。

地域の農業や工業などの産業は、幾つかの地理的諸条件と関連付け気候や土壌などの自然的条件と消費地の位置関係や他地域との競合関係、生産に携わる人々の工夫などといった社会的条件との両面から関連付けて地域的特色を追求する。

また、地域の地理的事象の形成や特色を理解するためには、特色ある産業地域の形成など産業が地域において果たしている役割や地域の産業の動向は、それを成立させている地理的諸条件の変化や他地域との関係などに伴って変化するものであることなどを踏まえて考察していく。

○生徒観

素直で真面目に学習に取り組んでいる生徒が多いが社会科に興味を持ち、意欲的に授業に参加できている生徒とそうでない生徒との差が大きいことからグループ活動や発表の場面においても限られた生徒が授業を主導することがある。また、発問に自力だけでは、答えられない生徒もいるのでグループ活動やペア活動を通して、仲間の意見や表現できる生徒を参考にできる仕掛けをつくり、生徒間で学ぶ場を設定するようにしている。

昨年度の高知県学力定着状況調査では正答率が 58.0（県平均との差+5.6、全国平均との差+1.5）で、活用に関する問題 49.3（県平均との差+2.5、全国平均との差-0.2）、社会的な思考・判断・表現 51.6（県平均との差+1.6、全国平均との差-1.5）であった。短答式の問題の正答率は高かったが、事象の原因や背景について問われている問題や資料を正しく読み取れているかを問われている問題に課題が見られた。日々の授業からも、文章から読み取る力の弱さが感じられる。

○指導観

本単元では、中部地方を題材に「産業を中核とした考察」を行っていく。産業の特色は、地域によって異なることに気付かせ、なぜそのような違いが生まれるのかを既習事項などを踏まえて考えさせ、日本の諸地域の産業は自然環境や交通・通信などの社会的条件と深く関連していることを理解させていく。また、単元を通して生徒が自ら教科書や資料集を使い調べたりまとめたりする場面を多く設定し、主体的に学ぶ中で事象に対して資料や既習事項と関連付けて説明したりまとめたりできる力をつけさせたい。

3 単元の目標

- 中部地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追及する。
- 中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。
- 中部地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめる。
- 中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付ける。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
中部地方の地域的特色に対する関心を高め、それらを意欲的に追及し、とらえようとしている。	中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中部地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画（全5時間）

次	学習のねらい（時数）	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
1	中部地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。				○	中部地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解している。	
2	中部地方で有名な農産品と工業製品について調べ、その分布を白地図にまとめる。			○		中部地方で有名な農産品と工業製品について調べ、その分布を白地図にまとめる。	
3 本時	地域によってつくられている農産品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明できる。		○			地域によってつくられている農産品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明している。	
4	地域によってつくられている工業製品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明できる。		○			地域によってつくられている工業製品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明している。	
5	中部地方の産業の発展が人々の生活に与える影響や課題について意欲的に考える。	○				中部地方の産業の発展が人々の生活に与える影響や課題について意欲的に考えている。	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

地域によってつくられている農産品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明できる。

(2) 本時の評価規準

地域によってつくられている農産品が異なる理由を自然的条件や社会的条件から考察し、説明している。

(3) 準備物 教科書 ノート 資料集

	西中スタンダード	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	学習課題をつかむ	○前時の振り返りを行う。 めあて なぜ地域によってつくっている農産品が違うのだろう。	・三つの地域でつくっている農産品が違うことを確認する。	
展開	個人の考えをもつ 学習課題について深める 全体で考えを深める	○めあてについて予想する。 ・その土地に適した農業 ・自然環境(気候など) 質問1 どのような自然環境の違いだろう。 ・班で調べる。 ・全体で共有する。 質問2 自然環境以外に産業に影響を与えているものはないだろうか。 ・班で考える ・全体で共有する。	・今までの既習事項などを踏まえて自由に予想させる。 ・三つの地域の自然環境の違いを調べさせる。 ・それぞれの自然環境に適した農業が行われていることを確認する。 ・産業が盛んな位置と交通網、大都市への距離が読み取れる資料を見せ自然条件だけでなく、社会的条件が適している場所で産業が発達していることをおさえる。	中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (発表・ノート・観察)

ま と め	<div data-bbox="244 197 405 309" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> まとめ 振り返る </div>	<p>○自分の言葉でまとめる。</p> <div data-bbox="443 248 895 461" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気候や地形などの自然条件の 違いと交通網や消費地の 位置関係などの社会的条件 の違いによりつくっている 農産物は違う。 </div> <p>○まとめを友達に説明する。</p> <p>○振り返りを行う</p>	<p>・「気候」「地形」「交通網」「消費地との位置関係」の4つのワードを使いめあてに対するまとめを自分なりの文章で書かせる。</p>	<p>中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (発表・ノート・観察)</p>
-------------	--	--	--	--